

桜の花が満開となって春を謳歌し、その花びらが名残惜しく散っていく中、入れ代わるように、本校のシンボルでもある銀杏が芽ぶき、若葉がさ緑に萌えなんとする春の佳き日に、愛媛県立松山南校高等学校 全日制課程の入学式を、多数のご来賓の皆様の臨席を得て挙行できますことを心から感謝申し上げます。

ただいま、360名の皆さんの入学を許可いたしました。新入生の皆さんは、大きな希望と少しの不安を抱かれています。不安は、一日一日と学校生活を送っていくうちに消えていくと思います。分からないことや困っていることは、口に出し、親身な先生や優しい上級生の皆さんに尋ねてみてください。必ずや親切に対応してさせていただきます。また、新しいクラスメートに声をかけてみてください。あいさつから人間関係が広がり、友情が育まれていくものです。南高は、温かい学校です。

さて、新入生の皆さんにお願いしたいことが二つあります。一つは、120有余年の歴史と伝統を有する、この南高で、「あなたは何をなすべきなのか」をじっくり考えていただきたいということです。この南高で過ごせるのは、3年間しかありません。人生の中で最も輝かしい青春時代を、この学び舎で過ごしていくのです。卒業の際に振り返ったとき、南高で過ごした日々が、満足のいくものであり、かけがえのない思い出があふれてくるように、どうか、自分らしく、何をしたいのかを考えて、南高生活を楽しんでいただきたいと思います。

二つ目は、有意義な南高生活を送るために、生涯を通じて果たすべき自分の「志」を立て、心を耕し、言葉を磨いていただきたいということです。自分の「夢」や「希望」、「理想」を明確なものにし、社会の中で果たすべき役割を考えて、「志」を立ててみてください。また、あらゆることに挑戦し、艱難辛苦も乗り越えて、心を豊かにしてください。そして、志を果たすため、心豊かな生活を送るために大切な「言葉」を磨いていってください。自分の思いや考えを相手に伝えるには、相手の心に響く言葉が必要です。言葉の力を獲得していきましょう。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。お子様の晴れの日を迎えられて、お喜びもひとしおのことと存じます。私ども教職員一同、大切なお子様をお預かりします以上は、南高に来てよかったと思って卒業していただけるよう、力の限り教育に当たりたいと考えておりますので、どうか、家庭と学校が車の両輪となってお子様の成長を支えることができますよう、連携・協力をお願いいたします。

銀杏の若葉は、やがて黄色く色づく、実りの時をめざして、季節の移ろいの中で、これからさらに生長していきます。皆さんも、青々と葉を茂らせる銀杏の葉のごとく、どんどん成長し、自分の志を果たすため、心を耕し、言葉を磨き、この南高でかけがえのない自分を作り上げていかれることを切に願って式辞といたします。